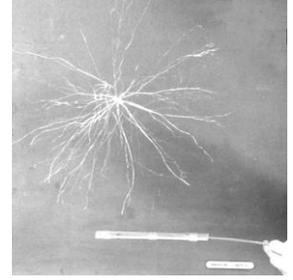
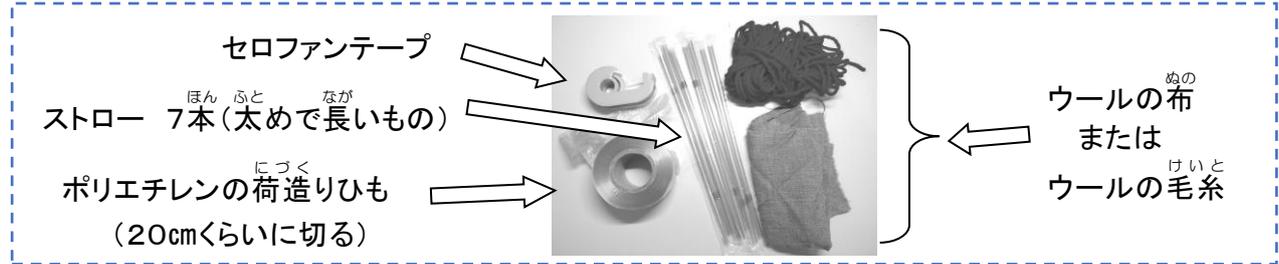


静電気せいでんきの力ちからで空中くうちゅうにクラゲうを浮かうばせてみるよ。

荷造りにづくひものクラゲうを作って、それを静電気せいでんきで空中くうちゅうに浮かうばせてみる実験じっけんだよ。静電気せいでんきと言いえば、「パチッ」という音おとで「ビリ」ときて嫌いやな感かんじがするけど、楽たのしい実験じっけんだたってできる。工こう作さくと実じっ験けん、もちろん理り科かの勉べん強きょうもしよう。



1 準備じゆんびするもの



2 作り方

2.1 クラゲの作り方

- ① ひもの一方いっぽうの端はしを結むすび、短ほい方むすを結むすび目めの近ちかくで切きり取とる。
- ② 結むすんだ反はん対たい側がわの端はしから細こまかく裂きいていく。

2.2 操縦棒そうじゆうぼうの作り方

ストローほん7本ろっを六角形ろっに束たばね、セロファンテープこていで固こ定ていする。
操縦棒そうじゆうぼうは塩えんビの水すい道どうパイプえいでも良よい。

3 浮かうばせ方かた (実じっ験けんの方ほう法ぽう)

- ① 裂さいたひもを机つくえの上おに置おいて、ウールぬのの布けいと (または毛糸つよ) で強こく擦する。
- ② 操縦棒そうじゆうぼうもウールぬのの布けいと (または毛糸つよ) で強こく擦する。
- ③ 裂さいたひもの1本ほんの足あしをつまみ上あげると、クラゲあしのようひろに足たかが広ほうがる。これあを高たかく放ほうり上あげる。
- ④ 落おちてくるクラゲしたの下うに操縦棒そうじゆうぼうをかざすと、ゆらゆらとクラゲうを浮うかせることができるよ。

4 実じっ験けんのポイしンんト

- できせいた静でん電きを逃にがさない。水すい分ぶんは静せい電でん氣きを逃にがしやすいから、使つかうものかんはよくく乾かん燥そうさせる。
- 擦こるものはによつって、反はん発はつしないひで引ひき合あったりする。
- 擦こる相あ手てによつって静せい電でん氣きはプどラうスしにななったりマイまいナなスすにななったりするよ。プどラうスし同どう土とだと反はん発はつして、プどラうスしとマイまいナなスすだと引ひき合あうよ。擦こるものと擦こられるものと、いいろんな組くみみ合あわせで試たしてためてね。

5 氣きをつつけよう!

- 周しゅう圍いの人ひとや物ものにぶぶつからないよう、広ひろい部へ屋やで注ちゅう意いししながら実じっ験けんしてね。

6 静せい電でん氣きにつついて詳くわしく知しるたために

- コピかー機きは静せい電でん氣きを使つかっている。また、雷かみなりは雲くもの中なかに起おきる大おおきな静せい電でん氣きだよ。ブぶースすにいる人ひと (技ぎ術じゆつ士し) が静せい電でん氣きのここをかききいた資し料りょうで説せつ明めいしてくくれるよ。質しつ問もんしててみてね。